

成果主義が職場にもたらすものは

「がんばれば報われる」として導入された成果主義が、職場での働き方と暮らし、さらには企業経営にもたらしているものをまとめてみました。みなさんの働き方、職場の実態で考えてみましょう。

働く者にとっては

賃金は40歳代で賃上げなしで頭打ちになる。また、職場内で賃金格差がつけられ、労働者間での競争が激化する。

一部の厚遇される人も、降格・降給の不安につきまとい、更なる成果へと駆り立てられる。

総額人件費削減のために職場で人員削減が進み、一人ひとりの労働負荷が増える。その結果、長時間（サービスクラスを含む）労働が蔓延し、健康破壊が進み、メンタルヘルスが悪化する。

自分の将来賃金が見通せず、雇用不安も増大するので、人生設計がたてにくい。

総額人件費削減を目的に、正社員をコストが安い「派遣・請負」などの非正規労働者に置き換えが進む。そして、非正規労働者は、極端な低賃金と無権利で働かされる。

賃金決定に労働組合が関与できる範囲が狭まり、労働組合への求心力が低下し、企業の専制支配が強まる。



企業経営にとっては

短期的成果が優先され「現場力」が低下する。難しい（高い）目標は敬遠され開発力が低下、保全やアフターケアなど地味な業務が敬遠され、面倒な問題は他人に押しつけがちになり、業務の連携やチームワークが弱体化、自分の技術やノウハウを他人に教えず、技術の伝承が困難になる。

成果主義という管理システムに振り回され、経営者の経営力、管理監督者の指導・管理能力が低下する。そのため「人」が育たず、

「人の組織」としての経営体は衰弱する。

短期的には利益を極大化できて中長期的には新製品が生まれず、企業の競争力・業績は落ちる。事故や災害、製品の不具合など、命取りになりかねない企業不祥事が（もの言えない職場、現場力の低下が相乗的に作用して）多発・重大化する。



日立労組の機関紙「936」では、左記のQ&Aが掲載されています。みなさんはどう思われますか。

Q 世間では「成果主義」について、いろいろな問題があると言われています。日立の制度はどうなのでしょうか。

A 日立の評価の仕組みは、「能力」「行動・プロセス」「成果」の3つの要素を総合的に評価するものであり、仕事のプロセスの如何に関わらず「成果」アウトプットのみを評価するという「成果主義」とは一線を画すものと考えています。



日立懇

<発行> 2007年11月号
<茨城日立地区版>

日立関連労働者懇談会

〒108-0073 東京都港区三田3-2-20
(電機労働者懇談会気付)
TEL(03)3455-6006 FAX(03)3451-3595
http://www.hitachikon.net
EX-ℓ info@hitachikon.net

08年春闘に向け「電機労働者懇談会」
生活改善要求アンケート
ご協力をよろしくお願いします。



駐車場

料金が3倍に値上げ

10月から旧国分工場の駐車場代が五百円から千五百円に値上げされた。

AEパワーや日立の従業員の場合、値上げ分は会社負担となり従来どおりですが、派遣の人にとっては、急騰しているガソリン代に加え、駐車場代千円増は大きな負担となります。「派遣社員だって日立やAEパワーのために働いているのに、差別するのか」との怒りの声があがっています。(AEパワー、旧国分)

整備始まり サッパリと

いっぽう「草ぼうぼうの(情制シ)駐車場」(先月号既報)の整備が、毎週休日に一個所づつ実施されています。舗装されていない所にローラーをかけるのが基本のようですが、草も刈られてサッパリとしました。(情制シ)

千円の商品券に達成感

「健康増進のために」と今年4月から始められた構内ウォーキングラリー。先日、100km到達者に記念品が授与されました。

構内1周は1.2km。平日1日1回と決められているので、100km到達には毎日歩いて約4ヶ月かかりました。

達成者は千円の商品券をもらい「タオルでなくてよかつた」

「千円の商品券はうれし」と話しています。

次の目標は150kmですが、100km到達で終わりにした人が多いのが、昼休みのウォーキングラリーの人数が減ったようにも見えます。(情制シ)

受注過達で職場に悲鳴

07年下期は受注超過達成で、作業の消化不良が心配されています。

幹部から「消化体制は大丈夫か」と言われていますが、当該職場では「大丈夫かと言われても、当然大丈夫ではない」「人員不足を心配して、人を増やせと言ってくれてるのか、それとも現状でちゃんとやれ、と言っているのか」「たとえ人を増やしてもいいと言われても、人材がいなしねえ。」の声。(情制シ)

PCBもって情報公開を

「日立製作所(旧国分)とAEパワー敷地内から環境基準を超えるPCBを検出」という10月20日の新聞報道が話題になっている。

「地下水から環境基準の60倍ものPCBが検出された」と言うけど、工場の飲み水はだいたいぶなの?」「今どき、市の水道を使わないで井戸水を使っている工場があったのか」「不安でしょうがない。どの辺から検出されたのか公開してくれ」などなど。

(旧国分)

PCB ポリ塩化ビフェニル。熱に強い、非導電性などの性質を持つため、変圧器など冷却油や機械の潤滑油などに多用された。昭和40年代に社会問題化し

た力ネミ油症事件で発がん性もある毒性物質と認知され、製造および輸入が原則禁止された。

組合の真価が問われます

日立労組・AEパワー労組が取り組んでいる「権利月間」。「残業ゼロの日」のある間接職場の労組による職場点検の事。定時を過ぎても普段の日と変わらず大勢の人が残業をしています。

理由がわかりました、裁量労働適用者、派遣社員等には関係ないとの事でほんの数人が帰っただけです。これでは点検の意味がほとんどありません。名ばかりじゃなく実のある月間となるよう、職場全体で帰れるような取り組みを労組がこの月間を利用して大胆にとりくんではほしいと強く感じました。(旧国分)

カフェテリア ちょっとお得な使いみち

「さて今年はいったい何に使おうか」：毎年頭を悩ませる方が多いカフェテリアプラン。そこで、ちょっとおトクな利用方法をご紹介します。本人の医療費(診察費、薬代)や本人・家族の介護関係に使うと非課税扱となり、1ポイントで110円支給されます(通常は100円)。年間で約5千円おトクです。

健康で、こんなのに使わないのですむのがいちばんなのです。

